

京都府人権教育・啓発推進計画（第2次）
に関する府民調査
報告書

令和3（2021）年3月

京 都 府

はじめに

京都府では、一人ひとりの尊厳と人権が尊重され、誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現に向けて、平成28（2016）年1月から、人権教育・啓発に関する施策を総合的かつ計画的に進めるための基本的指針として、「京都府人権教育・啓発推進計画（第2次）」を策定し、さまざまな施策に取り組んできたところです。

しかしながら、人権問題は多様化・複雑化し、部落差別（同和問題）、女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国人等に関わる人権問題をはじめ、インターネット上での心ない書き込み、最近では新型コロナウイルス感染症に関する偏見・差別等新たな問題も発生しております。

このような中で「京都府人権教育・啓発推進計画（第2次）」策定後5年が経過することから、これまでの人権教育・啓発の効果を把握するとともに、第2次計画改定の参考資料とするため、府民調査を実施いたしました。

今回の調査では、平成23（2011）年・平成26（2014）年に実施した調査項目を基本にした設問の他に、「障害者差別解消法」、「ヘイトスピーチ解消法」、「部落差別解消法」のいわゆる人権三法に関する認知度や、今日的な課題である新型コロナウイルス感染症による人権侵害に関する認識等の質問を設けて、府民の皆様の人権意識の把握に努めました。

京都府では、この調査結果を今後の人権教育・啓発施策の推進に活かしていくこととしていますので、関係各位におかれましても、人権課題解決に向けての検討材料としてくだされば幸いです。

最後になりましたが、本調査の実施と結果報告の取りまとめに多大の御尽力をいただきました京都大学 上杉孝實名誉教授並びに大阪市立大学 阿久澤麻理子教授、調査の実施に当たり格段の御協力をいただきました府民の皆様や関係者に心からお礼申し上げます。

令和3（2021）年6月

京都府府民環境部人権啓発推進室

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 回収状況	2
4. 調査協力者	2
5. 報告書の見方	2
6. 平成23（2011）年度及び平成26（2014）年度調査の概要	2
7. 調査の精度	3
第2章 調査結果	5
1. 回答者本人について	5
2. 人権に関する考え方や認識について	10
3. 人権侵害について	43
4. 差別や人権侵害などに関する考え方や認識について	56
5. 最近、社会的関心を集めている事柄について	82
6. 人権問題を理解するための取組について	95
7. 人権が尊重される社会づくりに求められることについて	110
第3章 調査結果の分析と考察	115
1. 人権教育・啓発と人権意識	115
京都大学 名誉教授 上杉 孝實	
2. 「人権三法」と新たな人権課題（「インターネット」「コロナウイルス感染症」）についての府民意識 ..	140
大阪市立大学 教授 阿久澤 麻理子	
第4章 資料編	161
1. 回答者属性別集計表	161
2. 自由意見	228
3. 調査票	230